



# Sun Fire™ V20z および Sun Fire V40z サーバー

---

プリインストール Solaris™ 10  
オペレーティングシステムマニュアル

Sun Microsystems, Inc.  
[www.sun.com](http://www.sun.com)

Part No. 819-2938-10  
2005 年 7 月, Revision A

コメントの送付: <http://www.sun.com/hwdocs/feedback>

Copyright 2005 Sun Microsystems, Inc., 4150 Network Circle, Santa Clara, California 95054, U.S.A. All rights reserved.

米国 Sun Microsystems, Inc. (以下、米国 Sun Microsystems 社とします)は、本書に記述されている技術に関する知的所有権を有しています。これら知的所有権には、<http://www.sun.com/patents>に掲載されているひとつまたは複数の米国特許、および米国ならびにその他の国におけるひとつまたは複数の特許または出願中の特許が含まれています。

本書およびそれに付属する製品は著作権法により保護されており、その使用、複製、頒布および逆コンパイルを制限するライセンスのもとにおいて頒布されます。サン・マイクロシステムズ株式会社による事前の許可なく、本製品および本書のいかなる部分も、いかなる方法によっても複製することが禁じられます。

本製品のフォント技術を含む第三者のソフトウェアは、著作権法により保護されており、提供者からライセンスを受けているものです。

本製品の一部は、カリフォルニア大学からライセンスされている Berkeley BSD システムに基づいていることがあります。UNIX は、X/Open Company Limited が独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。

本製品は、株式会社モリサワからライセンス供与されたリュウミン L-KL (Ryumin-Light) および中ゴシック BBB (GothicBBB-Medium) のフォント・データを含んでいます。

本製品に含まれる HG 明朝 L と HG ゴシック B は、株式会社リコーがリョービマジクス株式会社からライセンス供与されたタイプフェイスマスタをもとに作成されたものです。平成明朝体 W3 は、株式会社リコーが財団法人日本規格協会 文字フォント開発・普及センターからライセンス供与されたタイプフェイスマスタをもとに作成されたものです。また、HG 明朝 L と HG ゴシック B の補助漢字部分は、平成明朝体 W3 の補助漢字を使用しています。なお、フォントとして無断複製することは禁止されています。

Sun、Sun Microsystems、AnswerBook2、docs.sun.com、Sun Fire は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems 社の商標もしくは登録商標です。サンロゴマークおよび Solaris は、米国 Sun Microsystems 社の登録商標です。

すべての SPARC 商標は、米国 SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC 商標が付いた製品は、米国 Sun Microsystems 社が開発したアーキテクチャーに基づくものです。

OPENLOOK、OpenBoot、JLE は、サン・マイクロシステムズ株式会社の登録商標です。

ATOK は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。ATOK8 は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、ATOK8 にかかる著作権その他の権利は、すべて株式会社ジャストシステムに帰属します。ATOK Server/ATOK12 は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、ATOK Server/ATOK12 にかかる著作権その他の権利は、株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

本書で参照されている製品やサービスに関しては、該当する会社または組織に直接お問い合わせください。

OPEN LOOK および Sun™ Graphical User Interface は、米国 Sun Microsystems 社が自社のユーザーおよびライセンス実施権者向けに開発しました。米国 Sun Microsystems 社は、コンピュータ産業用のビジュアルまたはグラフィカル・ユーザーインターフェースの概念の研究開発における米国 Xerox 社の先駆者としての成果を認めるものです。米国 Sun Microsystems 社は米国 Xerox 社から Xerox Graphical User Interface の非独占的ライセンスを取得しており、このライセンスは米国 Sun Microsystems 社のライセンス実施権者にも適用されます。

U.S. Government Rights—Commercial use. Government users are subject to the Sun Microsystems, Inc. standard license agreement and applicable provisions of the FAR and its supplements.

本書は、「現状のまま」をベースとして提供され、商品性、特定目的への適合性または第三者の権利の非侵害の黙示の保証を含みそれに限定されない、明示的であるか黙示的であるかを問わない、なんらの保証も行われぬものとします。

本書には、技術的な誤りまたは誤植のある可能性があります。また、本書に記載された情報には、定期的に変更が行われ、かかる変更は本書の最新版に反映されます。さらに、米国サンまたは日本サンは、本書に記載された製品またはプログラムを、予告なく改良または変更することがあります。

本製品が、外国為替および外国貿易管理法(外為法)に定められる戦略物資等(貨物または役務)に該当する場合、本製品を輸出または日本国外へ持ち出す際には、サン・マイクロシステムズ株式会社の事前の書面による承諾を得ることのほか、外為法および関連法規に基づく輸出手続き、また場合によっては、米国商務省または米国所轄官庁の許可を得ることが必要です。

原典:	Sun Fire V20z and Sun Fire V40z Servers—Guide for Pre-Installed Solaris 10 Operating System
	Part No: 819-1811-10
	Revision A



# 目次

---

はじめに	v
関連マニュアル	v
Sun のオンラインマニュアル	vi
Sun の技術サポート	vi
コメントをお寄せください	vi
プリインストール Solaris™ 10 オペレーティングシステムの設定	1
インストール用ワークシート	1
作業の前に	3
サービスプロセッサ	3
プリインストールされた Solaris 10 オペレーティングシステムの設定	4
ユーザーマニュアル	6
プリインストールされた Solaris 10 OS のサーバーからの削除	6
Solaris 10 OS のダウンロード	6



# はじめに

---

このマニュアルでは、Sun Fire V20z および V40z サーバーの Solaris 10 オペレーティングシステムの設定方法について説明します。

---

## 関連マニュアル

用途	タイトル	Part No.
設置	『Sun Fire V20z および Sun Fire V40z サーバー—設置マニュアル』	817-6146-xx
保守	『Sun Fire V20z および Sun Fire V40z サーバー—ユーザーマニュアル』	819-2918-xx
サーバーの管理	『Sun Fire V20z および Sun Fire V40z サーバー—サーバー管理マニュアル』	819-2923-xx
Linux OS のインストール	『Sun Fire V20z および Sun Fire V40z サーバー—Linux オペレーティングシステムインストールマニュアル』	817-6156-xx
障害追跡	『Sun Fire V20z および Sun Fire V40zサーバー—障害追跡手法および診断マニュアル』	819-2928-xx
最新情報	『Sun Fire V20z および Sun Fire V40z サーバー—ご使用にあたって』	819-2913-xx

---

## Sun のオンラインマニュアル

各言語対応版を含む Sun の各種マニュアルは、次の URL から表示、印刷、または購入できます。

<http://www.sun.com/documentation>

---

## Sun の技術サポート

このマニュアルに記載されていない技術的な問い合わせについては、次の URL にアクセスしてください。

<http://www.sun.com/service/contacting>

---

## コメントをお寄せください

マニュアルの品質改善のため、お客様からのご意見およびご要望をお待ちしております。コメントは下記よりお送りください。

<http://www.sun.com/hwdocs/feedback>

ご意見をお寄せいただく際には、下記のタイトルと Part No. を記載してください。

『Sun Fire V20z および Sun Fire V40z サーバー—プリインストール Solaris 10 OS マニュアル』、Part No. 819-2938-10

# プリインストール Solaris™ 10 オペレーティングシステムの設定

このマニュアルでは、使用している Sun Fire™ V20z または Sun Fire V40z サーバーにプリインストールされた Solaris™ 10 オペレーティングシステム (OS) の設定手順について説明します。手順は、次のとおりです。

1. サービスプロセッサ (SP) にログオンし、コンソール出力用の Serial-over-LAN オプションを設定します。
2. 使用しているサーバーのプリインストールされた Solaris 10 OS を設定します。

## インストール用ワークシート

次のワークシートを使用して、Solaris 10 OS のインストールに必要な情報を収集します。

ワークシートで要求されている情報をすべて収集する必要はありません。使用しているシステムに該当する情報のみを収集する必要があります。

表 1 インストール用ワークシート

インストールに必要な情報	説明または例	記入欄
ネットワーク	システムをネットワークに接続しますか。	はい/いいえ
ネットワーク インタフェース	システムには、どのネットワークインタフェースで接続しますか。	
DHCP	ネットワークインタフェースを設定する際に、システムで動的ホスト構成プロトコル (DHCP) を使用できますか。	はい/いいえ
ホスト名	DHCP を使用しない場合は、システムに適用するホスト名を決定します。	

表 1 インストール用ワークシート (続き)

インストールに必要な情報	説明または例	記入欄
IP アドレス	DHCP を使用しない場合は、システムの IP アドレスを決定します。 例: 129.200.9.1	
サブネット	DHCP を使用しない場合に、システムをサブネットの一部にしますか。 システムをサブネットの一部にする場合は、サブネットのネットマスクを確認します。 例: 255.255.0.0	はい/いいえ
IPv6	このマシンで IPv6 を使用可能にしますか。	はい/いいえ
デフォルトルート 注: このオプションは、静的 IP アドレスをサーバーに割り当てることを選択した場合のみ表示されます。	デフォルトルートの IP アドレスを指定しますか。あるいは、Solaris Web Start インストールプログラムまたは Solaris suninstall プログラムを使用してデフォルトルートの IP アドレスを検出しますか。 デフォルトルートは、2 つの物理ネットワーク間でトラフィックを転送するブリッジになります。IP アドレスは、ネットワーク上で各ホストを識別するための一意の番号です。 次のいずれかの方法を選択できます。 IP アドレスを指定できます。指定した IP アドレスで /etc/defaultrouter ファイルが作成されます。システムを再起動すると、指定した IP アドレスがデフォルトルートになります。 ソフトウェアを使用して IP アドレスを検出できます。システムを再起動すると、Solaris suninstall プログラムによって IP アドレスが検出されます。 ルーターを使用しない場合、またはこの時点ではソフトウェアによる IP アドレスの検出を行わない場合は、指定も検出もしないことを選択できます。再起動時に、ソフトウェアによって自動的に IP アドレスの検出が試行されます。 ホストの IP アドレス:	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 指定する</li> <li>• 検出する</li> <li>• どちらも行わない</li> </ul>
タイムゾーン	デフォルトのタイムゾーンはどのように指定しますか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 地理的な位置</li> <li>• GM からのオフセット</li> <li>• タイムゾーンファイル</li> </ul>
ルートパスワード	システムのルートパスワードを選択します。	



---

# 作業の前に

---

注 – 次の Web サイトにアクセスして、使用している Sun Fire V20z および Sun Fire V40z サーバーのユーザーマニュアルが最新版であることを確認してください。

[http://www.sun.com/products-n-solutions/hardware/docs/Servers/Workgroup\\_Servers/Sun\\_Fire\\_V20z/index.html](http://www.sun.com/products-n-solutions/hardware/docs/Servers/Workgroup_Servers/Sun_Fire_V20z/index.html)

---

- まず、サービスプロセッサ (SP) の初期設定を実行する必要があります。

初期設定を行うには、『Sun Fire V20z および Sun Fire V40z サーバー—サーバー管理マニュアル』(819-2923) の次の 2 つの節を参照してください。このマニュアルは、Sun Fire V20z and Sun Fire V40z Servers—Documentation and Support Files CD に収録されています。

第 1 章にある「サービスプロセッサの初期設定」内の次の節

- 「パート I: SP へのネットワーク設定の割り当て」
- 「パート II: サービスプロセッサのセキュリティ保護」

## サービスプロセッサ

---

注 – SP で使用できるすべてのコマンドおよびオプションの一覧については、『Sun Fire V20z および Sun Fire V40z サーバー—サーバー管理マニュアル』(819-2923) の付録を参照してください。

---

Sun Fire V20z および Sun Fire V40z サーバーには、OS からの完全な独立性と、サーバー管理機能の最大限の可用性を実現するための、専用のチップセットが搭載されています。サービスプロセッサ (SP) と呼ばれるこのチップセットは、次の機能を提供する組み込み型の PowerPC チップです。

- プラットフォームの環境監視 (温度、電圧、ファン速度、パネルスイッチなど)
- 問題が発生した場合の警告メッセージ
- 遠隔からのサーバー操作の制御 (サーバーのオペレーティングシステムの起動/停止/再起動、サーバーの電源投入/電源切断、BIOS のサーバー起動プロセスの停止、BIOS のアップグレードなど)

---

# プリインストールされた Solaris 10 オペレーティングシステムの設定

---

注 – この手順を実行する前に、サービスプロセッサの初期設定を実行する必要があります。サービスプロセッサの初期設定をまだ実行していない場合は、3 ページの「作業の前に」を参照してください。

---

1 ページの「インストール用ワークシート」に示すように、使用しているシステムおよびネットワークに関する情報を収集し、この情報を使用して設定作業を順に行います。

1. SSHv1 または SSHv2 クライアントを使用して、Sun Fire V20z または Sun Fire V40z サーバーの SP の IP アドレスに接続します。
2. あらかじめ作成したユーザーアカウントを使用して、SP にログインします。
3. 次のコマンドを実行して、SP 上で Serial-over-LAN 機能を使用可能にします。

```
# platform set console -s sp -e -S 9600
```

---

注 – `-s` 引数で渡すボーレート値は、BIOS のシリアルリダイレクション機能に指定した速度、およびブートローダーや OS の設定で使用した速度と一致している必要があります。

BIOS 設定のデフォルトのボーレートは、9600 です。

---

注 – デフォルトでは、プリインストールされた Solaris 10 OS イメージは、シリアルポートに出力を送信するように設定されています。

---

4. プロンプトで、次のコマンドを実行します。

```
# platform console
```
5. 正面パネルにあるプラットフォームの電源ボタンを押して、プラットフォームに電源を入れます。

OS が起動すると、POST メッセージが画面に表示されます。

---

**注** – 画面にメッセージが表示されない場合は、Serial-over-LAN 機能が正しく設定されていない可能性があります。

まず、手順 3 に示すコマンドおよびオプションを正しく入力しているかどうかを確認してください。

---

6. プロンプトが表示されたら、端末の種類を選択します。  
プロンプトが表示された場合は、選択した値を確認します。
7. Esc+2 を押して、処理を続けます。
8. 画面上のプロンプトに従います。
9. 1 ページの「インストール用ワークシート」の情報を使用して、プロンプトに従って、システムおよびネットワークに関する情報を入力します。  
サーバーにネットワーク情報を割り当てるために選択した方法 (DHCP または静的 IP アドレス) によって、表示される画面は異なります。

システムの設定情報の入力が終わると、サーバーの起動処理が完了し、Solaris のログインプロンプトが表示されます。

#### ビデオポートへのコンソール出力の再設定



---

**注意** – この手順は、Solaris に熟練したユーザーのみを対象にしています。

bootenv.rc ファイルに問題があると、サーバーの通常の機能に重大な障害が発生するか、サーバーが起動できなくなる場合があります。

---

10. (任意) SP へのログイン中、コンソール出力をビデオポートにリダイレクトする場合は、プロンプトで次の引数を指定した eeprom コマンドを実行します。

```
eeprom output-device=screen
```

```
eeprom input-device=keyboard
```

## ユーザーマニュアル

Solaris 10 OS ユーザーマニュアルの各種コレクションは、次の URL で参照できます。

<http://docs.sun.com/app/docs/prod/solaris.10#hic>

特に、Solaris 10 OS Release and Installation Collection は次の URL で参照できます。

<http://docs.sun.com/app/docs/coll/1236.1?q=Solaris+10>

---

## プリインストールされた Solaris 10 OS のサーバーからの削除

プリインストール版の Solaris 10 OS をサーバーから削除する場合は、Sun Installation Assistant for Sun Fire V20z and Sun Fire V40z Servers CD-ROM を使用してください。この CD-ROM は、使用しているサーバーの付属品ボックスに同梱されています。

Sun Installation Assistant CD-ROM を使用すると、サポートされている Linux オペレーティングシステム (OS) を容易にインストールできます。このインストール手順の一部として、ハードディスクドライブから既存の OS を削除できます。

Sun Installation Assistant CD-ROM の詳細は、『Sun Fire V20z および Sun Fire V40z サーバー—Linux オペレーティングシステムインストールマニュアル』(817-6156) の第 2 章を参照してください。

## Solaris 10 OS のダウンロード

Solaris 10 を削除したあとで再インストールする必要がある場合は、Solaris 10 OS をダウンロードするか、Solaris 10 OS メディアキットを注文します。

詳細は、次の URL を参照してください。

<http://www.sun.com/software/solaris/index.jsp>